

令和 8 年 度

福岡県公立古賀竟成館高等学校入学者選抜要項

古賀高等学校組合教育委員会

古賀竟成館高等学校推薦入学者選抜に関する日程表

月 日	事 項	必 要 書 類 等
1月21日(水) ～ 1月29日(木)正午まで	志願受付	(1) 志望理由書 (2) 調査書（「居住証明」のない者は住民票の写しを添付） (3) 推薦書 ※自己推薦においては不要 (4) 入学選考料2,100円 (5) その他（校長が特に必要と認める書類） (6) 学区外高等学校入学志願者は以下の書類を併せて提出 ・ 学区外高等学校入学志願申請書 ・ 住民票の写し ・ その他必要な証明書等 （居住予定の住所を明らかにする書類、転勤証明書等）
2月3日(火)	面接、作文 実技試験	
2月4日(水)		
2月9日(月)午前9時	選考結果通知	
3月19日(木)午前9時	合格発表	

古賀竟成館高等学校入学者選抜（一般）に関する日程表

月 日	事 項	必 要 書 類 等
2月9日(月) ～ 2月20日(金)正午まで	志願受付	(1) 入学選考料 2,100円 (2) 調査書（「居住証明」のない者は住民票の写しを添付） (3) その他（校長が特に必要と認める書類） (4) 学区外高等学校入学志願者は以下の書類を併せて提出 ・ 学区外高等学校入学志願申請書 ・ 住民票の写し ・ その他必要な証明書等 （居住予定の住所を明らかにする書類、転勤証明書等）
2月24日(火) ～ 2月27日(金)正午まで	志願先変更受付	(1) 調査書（「居住証明」のない者は住民票の写しを添付） (2) その他（校長が特に必要と認める書類） (3) 学区外高等学校入学志願者は以下の書類を併せて提出 ・ 学区外高等学校入学志願申請書 ・ 住民票の写し ・ その他必要な証明書等 （居住予定の住所を明らかにする書類、転勤証明書等）
3月10日(火)	学力検査	
3月19日(木)午前9時	合格発表	

07 古高組第 1084 号
令和7年10月21日

各市町村（学校組合）教育委員会教育長 殿
福 岡 教 育 大 学 長 殿
福岡県人づくり・県民生活部
私学振興・青少年育成局長 殿
各 福 岡 県 立 学 校 長 殿
福岡県教育庁教育事務所長 殿

古賀高等学校組合教育委員会教育長

令和8年度福岡県公立古賀竟成館高等学校
入学者選抜要項等について（通知）

このことについて、次のとおり決定しましたので、貴校職員または貴管内の関係学校に
周知徹底の上、適正に処理されるよう、特に御配慮をお願いします。

目 次

* 令和8年度 福岡県公立古賀竟成館高等学校入学者選抜要項

(一) 基 本 方 針	1
(二) 入 学 志 願 手 続 等	
1 志 願 資 格	1
2 募 集 定 員	1
3 通 学 区 域	1
4 入 学 志 願 手 続	1
5 志 願 書 類	2
6 出 願 期 間	2
7 本 校 での 受 付	2
8 志 願 先 の 変 更	2
9 受 検 票 の 発 行	2
10 評 定 一 覧 表	3
11 通常の方法により受検することが困難な受検者への配慮事項	3
12 そ の 他	3
(三) 学 力 検 査	
1 検 査 教 科	3
2 検査期日・時間割等	3
3 検 査 場 等	4
4 検 査 場 責 任 者	4
(四) 英 語 リ ス ニ ン グ テ ス ト	4
(五) 選 抜 の 方 法	5
(六) 合 格 発 表	5
(七) 推 薦 入 学	
1 実 施 の 趣 旨 等	5
2 募 集 人 員	6
3 出 願 資 格	6
4 出 願 の 制 限	7
5 推薦適任者の選考	7

6	入 学 志 願 手 続	7
7	面接、作文及び実技試験	7
8	選 考	8
9	選考結果の通知	8
10	合 格 発 表	8
11	そ の 他	8

(八) 有 志 竟 成 人 材 枠

1	実 施	8
2	募 集 人 員	8
3	出 願 資 格	8
4	入 学 志 願 手 続	8
5	面接及び実技試験	9
6	選 抜 の 方 法	9
7	合 格 発 表	9

(九)	そ の 他	9
-----	-------	---

※様式一覧

様式1 A	入学願書	10
様式1 B	通学に関する誓約書	11
様式2 A	学区外高等学校入学志願申請書	12
様式2 B	学区外高等学校入学のための身元引受書	13
様式3 A	志願変更届	14
様式3 B	志願変更証明書	14
様式5	調査書	15
様式6	評定一覧表	20
様式推1 A	推薦入学願書	22
様式推1 B	通学に関する誓約書	23
様式推2 学	志願理由書	24
様式推2 自	志願理由書	25
様式推3	推薦書	26
様式有1 A	有志竟成人材枠願書	27
様式有1 B	通学に関する誓約書	28
様式7	特別措置申請書	29

(注) 様式1～7については福岡県立高等学校入学者選抜要項の様式番号に準じている。

〈 参 考 〉

昨年度からの主な変更点には本文中に下線を添付しています。

※ 年度、日付、様式等の変更点を除く。

☆ 昨年度からの主な変更点

1 入学志願手続について

- ・福岡県公立高等学校入学者選抜WEB出願システムの導入に伴う志願手続の変更

2 推薦入学について （５～８ページ）

3 有志竟成人材枠について （８～９ページ）

☆ 出願資格（通学区域内に居住又は居住予定）について

通学区域に係る出願資格を満たすのは、次の場合です。

①古賀竟成館高等学校の通学区域内（県内全域）に居住している者

②古賀竟成館高等学校の通学区域外に居住し、高等学校入学時までに学区内に居住予定の者

※ ②の場合は、志願する際に、居住予定の住所を明らかにする書類等の提出が必要です。

その他の提出書類については、表紙裏面の日程表の「志願受付」の欄を参照してください。

令和8年度 福岡県公立古賀竟成館高等学校 入学者選抜要項

(一) 基 本 方 針

- 1 古賀竟成館高等学校（以下「本校」という。）入学者の選抜は、本校に入学を希望する者について、本校の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を公正に判定することを基本として行うものとする。
- 2 本校入学者の選抜に当たっては、中学校教育と高等学校教育の相互の関係を十分尊重し、特に、中学校教育が正常に運営されるよう配慮するものとする。
- 3 本校入学者の選抜については、志願者の在学又は出身中学校等の校長（以下「中学校長」という。）から提出される調査書を重視し、より公正を期するため、併せて学力検査を行うものとする。
- 4 普通科ベーシックデザインコースについては実技試験を行うものとする。
- 5 本校においては、すべての学科、コースにおいて推薦入学者選抜を行うものとする。

(二) 入 学 志 願 手 続 等

1 志願資格

- (1) 中学校（義務教育学校及び特別支援学校中学部を含む。）を卒業した者又は令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者
- (3) 就学義務猶予免除者等で中学校卒業程度認定試験に全科目合格した者
- (4) 外国において学校教育における9年の課程を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者
- (5) 青年学校本科第1学年以上を修了した者など、文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第58号）
- (6) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和8年3月修了見込みの者
- (7) その他、本校において中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者及び認定を受けようとする者。ただし、この認定に当たっては、本校で適宜試験を実施するものとする。

2 募集定員

本校の募集定員は、「古賀高等学校組合立高等学校学則」の規定するところによる。

学科	募集定員
普通科	160人
(特進コース)	(40人)
(進学コース)	(105人)
(ベーシックデザインコース)	(15人)
総合ビジネス科	40人

3 通学区域

通学区域は福岡県内全域とする。

入学志願者は、「古賀高等学校組合立高等学校の通学区域に関する規則」に規定するところにより、本人及びその保護者の居住地が通学区域に属する場合に志願できるものとする。なお、居住地とは、生活の本拠である住所をいうものとする。

4 入学志願手続

- (1) 入学志願者が行う手続

ア 福岡県公立高等学校入学者選抜WEB システム（以下「WEB 出願システム」という。）に、古賀成館高等学校の情報及び必要な志願書類（以下「志願情報」という。）を登録し、在学又は出身中学校等（以下、「中学校」という。）の承認を受けること。

イ 入学選考料として2,100円をWEB 出願システムにより納付すること。納付方法は、クレジットカード決済、コンビニ払い（現金のみ）、Pay-easy（ペイジー）から選択すること。なお、入学選考料は志願情報を中学校長が承認した後に志願を辞退する場合、返金を行わないため注意すること。また、推薦入学において合格内定とならなかった者が一般入学者選抜を志願する場合にあっては、改めて入学選考料を納付する必要はないこと。

(2) 中学校長が行う手続

中学校はWEB 出願システムにおいて、入学志願者が登録した志願情報及び入学選考料の納付を確認の上、5の（2）に掲げる書類のほか、必要な書類を登録し、承認の手続を行うこと。

(3) WEB 出願システムの操作に関する詳細は、「福岡県公立高等学校入学者選抜WEB 出願システムマニュアル」等で別途示すものとする。

5 志願書類

(1) 中学校長を経て本校校長へ提出する書類

ア 住民票の写し

調査書（様式5）の「A 学籍の記録」欄の「居住証明」のない者及び過年度中学校卒業者は、住民票の写し（本人、保護者及び世帯主との続柄が記載され、原則として3か月以内に交付されたもの。なお、マイナンバーの記載がないもの。）を提出すること。

イ 学区外高等学校入学志願申請書・身元引受書

本校通学区域外に居住していて本校を志願する者は、住民票の写しとともに、学区外高等学校入学志願申請書（様式2A）を提出すること。なお、必要に応じて、上記の書類のほか、学区外高等学校入学のための身元引受書（様式2B）を提出すること。

(2) 調査書

中学校においては、各志願者の調査書（様式5）の作成に当たって、校長を委員長とする「調査書作成委員会」を設け、中学校生徒指導要録に準拠して厳正に作成し、4の（2）の手続を行い、本校校長へ提出すること。

6 出願期間

令和8年2月9日（月）から2月20日（金）正午までとする。

7 本校での受付

本校校長は、中学校長からWEB 出願システムにより提出された志願情報を精査確認の上、受理すること。なお、本校校長は必要に応じ出願資格を確認できる書類等を求めることができるものとする。

8 志願先の変更

(1) 志願情報受理後、志願先高等学校の変更を希望する者は、令和8年2月24日（火）から2月27日（金）の正午までの間に、1回に限り他校（同一校内の変更を含む。）へ志願先を変更することができる。

(2) 志願先高等学校の変更を希望する者は、中学校長に申し出を行い、WEB 出願システムにより志願先変更入力の許可を受けること。加えてWEB 出願システムにより志願変更に必要な志願情報を登録し、中学校長の承認を受けること。

9 受検票の発行

入学志願者はWEB 出願システムから受検票を印刷するものとする。

10 評定一覧表

福岡県内の中学校においては、卒業予定者の全員について評定一覧表（様式6）を作成し、次の表により提出するものとする。なお、複数の選抜で志願がある場合であっても、1回のみ提出すればよいこと。また、過年度中学校卒業者に係る評定一覧表の作成については、21ページの「Ⅱ 過年度中学校卒業者に係る評定一覧表の取扱いについて」によるものとする。

提出先	「氏名」欄の記入	提出期日	提出部数
福岡県教育委員会 (高校教育課)	卒業予定者全員の氏名を記入したもの	2月20日(金) 正午まで	1部

おって、提出に当たっては、次の表の区分に応じた機関を経由して提出するものとする。
※この手続については、WEB出願システムによるものではないこと。

区分		経由機関
公立中学校	政令市の中学校	市教育委員会
	上記以外の中学校	市町村（学校組合）教育委員会→教育庁教育事務所
上記以外の学校		直接、福岡県教育委員会（高校教育課）に提出 〒812-8575 福岡市博多区東公園7番7号

11 通常の方法により受検することが困難な受検者への配慮事項

身体の障がい、発達障がい又は疾病等のため、通常の方法により、受検することが困難と認められる者については、障がい等の種類や程度、中学校における配慮事項等を勘案し、あらかじめ特別受検室を設けるなど検査方法、検査場等について適切な措置（以下「特別措置」という。）を講じるものとする。

中学校長は、特別措置を希望する志願者がいる場合、特別措置申請書（様式7）を令和7年12月5日（金）までに本校校長へ提出すること。ただし、提出後に当該志願者が志願先を本校から変更する場合には、直ちに本校校長に申し出ること。本校校長は、志願変更先の高等学校長に当該申請書を速やかに送付すること。なお、中学校長は、WEB出願システムにより志願先高等学校長へ提出する当該志願者の志願情報に、上記申請書を改めて登録すること。

12 その他

志願情報提出の際、本校校長が認める場合においては、志望順位を付けて本校の複数の学科、コースに志願することができるものとする。

(三) 学 力 検 査

1 検査教科

国語、数学、社会、理科及び外国語（英語）について県下同一問題で行う。

なお、外国語（英語）については、(四)によりリスニングテストを行うものとする。

各教科の配点は60点とする。

また、普通科ベーシックデザインコースを志願した者は、あわせて実技試験（基本的な鉛筆デッサン）を行うものとする。

2 検査期日・時間割等

令和8年3月10日（火）

検 査 時 間 割

教科	入室と注意	検査時間	休憩
国語	9:30 ～ 9:40	9:40 ～ 10:30	10:30 ～ 10:45
数学	10:45 ～ 10:50	10:50 ～ 11:40	11:40 ～ 11:55
社会	11:55 ～ 12:00	12:00 ～ 12:50	12:50 ～ 13:50
理科	13:50 ～ 13:55	13:55 ～ 14:45	14:45 ～ 15:00
外国語 (英語)	15:00 ～ 15:05	15:05 ～ 16:00	16:00 ～ 16:15
実技試験 パソコンのみ	16:15 ～ 16:25	16:25 ～ 16:55	

細部の諸注意については、本校において示すものとする。

なお、学力検査当日、天災等により学力検査が所定の期日に実施できない場合又は不慮の事故等本人の責めに帰することができない事由により学力検査を受検できないと認められる者については、令和8年3月24日（火）に追検査（1に準じて実施する学力検査）又は追選抜（面接及び作文等）を実施する。

※学力検査当日の体調不良者については、別室での受検が可能であること。

3 検査場等

(1) 検査場

検査は、本校において行うものとする。

(2) 採点

採点は、本校において行うものとする。

4 検査場責任者

本校校長を検査場責任者とする。

(四) 英語リスニングテスト

1 実施方法

本校で録音音源により、校内放送設備を用いて一斉に行う。

2 実施時間割

外国語(英語)学力検査の時間割を次の表のとおりとする。

外国語(英語)学力検査時間割

内容		時間		合図
第5時限 外国語(英語)	入室と注意	/	15:00	予鈴（学校のベル）
	リスニングテスト問題及び 筆記テスト問題配布		～ 15:05	
	リスニングテスト	開始時刻	15:05	学校のベル（そのあとすぐ放送を流す。）
		終了時刻	15:20	放送（リスニングテスト終了後、引き続き筆記テストを実施）
	筆記テスト	開始時刻		
		終了時刻	16:00	学校のベル

(五) 選 抜 の 方 法

- 1 調査書の「各教科の学習の記録」の第3学年における各教科の評定の数値の合計によって序列を定めるとともに、学力検査の総点によって序列を定める。
- 2 調査書及び学力検査の序列がともに校長が定める一定数（募集定員以内）に入っている者をA群とし、その他の者をB群とする。
- 3 A群については、調査書に特に支障がなければ、入学予定者とする。
- 4 A群の者のうち入学予定者とならなかった者及びB群の者については、調査書の「各教科の学習の記録」の第3学年における各教科の評定の数値以外の記載事項を重視しながら、上記1により定める調査書の序列、学力検査の序列及びその他の資料をも精査し、総合的に選考して、上記3の入学予定者と併せて、可否を決定する。
その際、本校の特色等に応じ、調査書の記載事項のうち特に重視する部分を定め、選考するものとする。
- 5 普通科特進コースで合格とならなかった者で普通科進学コースを第2希望にしている者は、普通科進学コースにおいて上記1～4により総合的に選考して、可否を決定する。普通科進学コースで合格とならなかった者で総合ビジネス科を第2希望にしている者は、総合ビジネス科において上記1～4により総合的に選考して、可否を決定する。また総合ビジネス科で合格とならなかった者で普通科進学コースを第2希望にしている者は、普通科進学コースにおいて上記1～4により総合的に選考して、可否を決定する。
- 6 過年度中学校卒業生については、調査書の内容が中学校卒業時のものに固定されているところから、本人の不利にならないよう考慮するものとする。
- 7 調査書の「出欠の記録」については、修学上はなほだしい支障のない限り、等差をつける資料としない。
- 8 受検者の修学可能性を最大限見据え、定員内不合格が極力生じないよう選考を行うものとする。

(六) 合 格 発 表

令和8年3月19日（木）午前9時に、本校及びWEB出願システムで行うものとする。また、追検査又は追選抜については、令和8年3月30日（月）午前9時に、本校及びWEB出願システムで行うものとする。

(七) 推 薦 入 学

1 実施の趣旨等

- (1) 本校では、普通科及び総合ビジネス科において、それぞれの学科・コースの特色にふさわしい個性（能力・適性、興味・関心、目的意識、学習意欲等）を有する生徒の入学を促進するために、推薦入学者選抜を実施する。
- (2) 本校の特色及び求める生徒像は、次のとおりとする。

ア 本校の特色

志をもって意欲的に学び、自律心と思いやりの心を持ち、地域社会の有為な人材として活躍できる逞しい生徒を育成することを教育方針としている。校訓「自主・友愛・練磨」の精神を培い、「知・徳・体」のバランスのとれた教育実践を行っている。また生徒一人

ひとりの進路希望に応じた自己実現を目指し、学力の向上に努め、将来、社会に貢献できる人材育成に向けての取組を行っている。

イ 本校の求める生徒像

- ・ 校名訓「有志竟成」の精神に則り、高い志を持って自らの目標に向けて粘り強く努力をする生徒
- ・ 正解のない困難な課題にも、逃げずに立ち向かい、他者と協力しながら課題解決を図ろうとする生徒
- ・ 他者を思いやる心を持ち、将来、地域社会を支え、地域社会に貢献しようとする意欲をもつ生徒

2 募集人員

普通科	127人程度
(特進コース)	(30人程度)
(進学コース)	(85人程度)
(ベーシックデザインコース)	(12人程度)
総合ビジネス科	30人程度

3 出願資格

推薦入学を志願できる者は、次の条件を満たした者とする。

- (1) 本校の通学区域に居住または居住予定で、令和8年3月中学校卒業見込みの者（義務教育学校若しくは特別支援学校中学部を卒業見込みの者及び中等教育学校の前期課程、外国の学校教育における9年の課程又は文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者を含む。）
- (2) 志願する動機・理由が明白、適切であること。
- (3) 志願する学科又はコースに対する適性及び興味・関心を有すること。
- (4) 合格した場合、入学する意志が確実であると認められる者であること。
- (5) 志願する学科又はコースの教育を受けるにふさわしい学業成績であること。
- (6) 次のA・Bのいずれかに該当すること。

A 学校推薦（中学校長による推薦が必要）

次に掲げた項目（ア）、（イ）、（ウ）、（エ）にひとつ以上該当すること。

（ア） 学力

中学校において、優れた学業成績を収めるとともに、高校入学後も勉学に励む強い意志を有する者

（イ） 運動競技・文化活動

中学校において、3年間継続して運動競技や文化活動等（学外での活動を含む）に取り組み、優れた成果を収める等努力し、本校入学後も運動競技や文化活動等において能力を発揮しようとする強い意志を有する者。なお、活動の経歴、実績を志願理由書に記載すること。

（ウ） 生徒会活動・ボランティア活動等

中学校において、生徒会活動又はボランティア活動等を継続的に行った者で、本校入学後も引き続き、学校行事等においてリーダーシップを発揮しようとする強い意志を有する者。なお、活動の経歴を志願理由書に記載すること。

（エ） 非認知的能力

「本校の求める生徒像（（七）1（2）イ）」に挙げたいずれかの資質・能力を備えており、本校入学後にその能力を発揮しようとする強い意志を有する者

B 自己推薦（中学校長による推薦が不要）

次に掲げた項目（ア）、（イ）、（ウ）、（エ）にひとつ以上該当すること。

（ア） 学力

中学校において、優れた学業成績を収めるとともに、高校入学後も勉学に励む強い意志を有する者

（イ） 運動競技・文化活動

中学校において、3年間継続して運動競技や文化活動等（学外での活動を含む）に取り組み、優れた成果を収める等努力し、本校入学後も運動競技や文化活動等において能力を発揮しようとする強い意志を有する者。なお、活動の経歴、実績を志願理由書に記載すること。

（ウ） 生徒会活動・ボランティア活動等

中学校において、生徒会活動又はボランティア活動等を継続的に行った者で、本校入学後も引き続き、学校行事等においてリーダーシップを発揮しようとする強い意志を有する者。なお、活動の経歴を志願理由書に記載すること。

（エ） 非認知的能力

「本校の求める生徒像（（七）1（2）イ）」に挙げたいずれかの資質・能力を備えており、本校入学後にその能力を発揮しようとする強い意志を有する者

4 出願の制限

出願は、1校に限るものとする。特色化選抜（福岡県立高等学校、県内市立高等学校が実施するものを含む。）、連携型選抜及び学びの多様化学校入学者選抜と併願することはできないものとする。

5 推薦適任者の選考

推薦に当たっては、中学校ごとに校長を委員長とする推薦委員会を設置して、厳正、公平に選考し、適切な推薦を行うものとする。ただし（七）3（6）Bの該当者についてはその限りではない。

6 入学志願手続

（1） 出願手続

（二）の4による。ただし、志願書類は下記（2）とする。

（2） 志願書類

ア 志願理由書（様式推2学又は様式推2自）

イ 推薦書（様式推3）

※（七）3（6）B 自己推薦においては不要

ウ 調査書（様式5）

エ その他

（ア） 住民票の写し

（二）の5の（1）のアによる。

（イ） 学区外高等学校入学志願申請書・身元引受書

（二）の5の（1）のイによる。

（ウ） 本校校長が特に必要と認める書類

（3） 出願期間

令和8年1月21日（水）から1月29日（木）正午までとする。

7 面接、作文及び実技試験

（1） 志願者全員に面接を行うものとする。

ア 面接期日

令和8年2月3日（火）及び4日（水）のうち、本校校長が指定する日

イ 面接場所

本校

(2) 普通科（特進コース）においては作文を実施するものとする。

普通科（進学コース）、総合ビジネス科においては作文又は実技試験（運動競技）のどちらかを選択し、実施するものとする。ただし、実技試験（運動競技）を選択できるのは、（七）3（6）B（イ）運動競技を出願資格とする者のみとする。

普通科（ベーシックデザインコース）にあつては実技試験（デッサン）を実施するものとする。

ア 作文、実技試験の期日

令和8年2月3日（火）及び4日（水）のうち、本校校長が指定する日

イ 作文、実技試験の場所

本校

8 選考

中学校長から提出された書類及び面接・作文・実技試験等の結果を資料として、総合的に選考して、合格者を内定するものとする。

9 選考結果の通知

令和8年2月9日（月）午前9時に、WEB 出願システムにおいて、本校校長から、中学校長に選考（内定）結果を通知する。なお、志願者は、同日午後4時以降にWEB 出願システムにて選考（内定）結果を確認することができる。

10 合格発表

令和8年3月19日（木）午前9時に、本校及びWEB 出願システムにおいて、一般入学者選抜の合格発表と同時に進行。

11 その他

推薦入学者選抜で合格内定とならなかった者は、再度、一般入学者選抜に出願することができる。この場合は、改めて一般入学者選抜の入学志願手続を行わなければならない。

(八) 有志 竟 成 人 材 枠

1 実施の趣旨等

本校では、普通科及び総合ビジネス科において、それぞれの学科・コースの特色にふさわしい個性（能力・適性、興味・関心、目的意識、学習意欲等）を有する生徒の入学を促進するために、有志 竟 成 人 材 枠を実施する。

2 募集人員

5名程度

ただし、募集定員が充足していない場合、この限りではない。

3 出願資格

令和8年度の本校及び、内容が本校と同一の福岡県立高等学校及び県内市立高等学校の入学者選抜の学力検査において、定められた検査教科を受検して不合格となった者。

ただし、本校で不合格となった普通科の同一コース又は総合ビジネス科（第2希望不合格者を含む。）の再受検は認めない。

4 入 学 志 願 手 続

(1) 出願手続

(二) の4による。ただし、志願書類は下記(2)とする。

(2) 志願書類

ア 学区外高等学校入学志願申請書・身元引受書

※ 学区外高等学校入学志願申請書が必要な者は、県外から県内へ転居予定である者とする。なお、住民票の写しも併せて提出すること。

イ 住民票の写し

(二) の5の(1) のアによる。

ウ 調査書(様式5)

(3) 出願期間

令和8年3月23日(月) から3月25日(水) 正午までとする。

5 面接及び実技試験

(1) 志願者全員に面接を行うものとする。普通科ベーシックデザインコースを志願した者は、あわせて実技試験(デッサン)を実施するものとする。

(2) 面接及び実技試験期日 令和8年3月26日(木)

6 選抜の方法

学力検査及び面接等の結果並びに調査書等を総合して選抜するものとする。なお、学力検査については、初回受検校での結果を利用するものとする。

7 合格発表

令和8年3月30日(月) 午前9時に、本校及びWEB出願システムで行うものとする。

(九) そ の 他

1 この要項に定めるもののほか詳細については、本校校長に通知するものとする。

2 学力検査の教科別得点及び総合得点については、有志竟成人材枠の合格者発表の日の翌日から1か月間提供できるものとする。

3 不正の事実が判明したときは、合格又は入学許可の取消し等の措置を講ずることがある。

4 (三) の2による追検査又は追選抜の受検を希望する者は、令和8年3月10日(火)の正午までに中学校長を通じて本校校長にその旨申し出るものとする。

受 検 票

学科(コース)	希望学科・コース(第1希望に○)
	普通科 特進コース
	普通科 進学コース
	普通科 パーシクデザインコース
	総合ビジネス科
※ 受検番号	第 号
ふりがな	
氏名	
生年月日	昭和 年 月 日生
出身 学校名	学校
福岡県公立古賀竟成館高等学校長 印	

- 注 1 ※印欄は高等学校で記入する。
 2 この受検票の交付をもって入学選考料の受領証交付に代える。
 3 この受検票は、入学手続日に持参すること。

(様式1A)

※受付年月日	※受付番号	※受付者

入 学 願 書

令和8年 月 日

福岡県公立古賀竟成館高等学校長 殿

貴校全日制課程に入学を志願します。

希望学科・コース(第1希望に○)	第2希望について□に✓を記入
普通科 特進コース	普通科進学コースを第2希望とする □する □しない
普通科 進学コース	総合ビジネス科を第2希望とする □する □しない
普通科 パーシクデザインコース	
総合ビジネス科	普通科進学コースを第2希望とする □する □しない

区 分	本 人	保 護 者
ふりがな		
氏 名 (自 署)		
生 年 月 日	昭和 年 月 日生	
現 住 所	〒 - -	〒 - -
出身学校名	学校	本人との関係

- (注) 1 「本人との関係」欄には、例えば父・母・叔父等と記入すること
 2 福岡県公立学校入学選考WEB出願システムによる入学志願手続を行う志願者については、本様式の作成及び提出は不要であること。

受 検 者 心 得

- この受検票は検査当日必ず携帯し、受検中は監督者に見えるように常に机上に置いておくこと。
- 受検に当たって必要なもの
受検票・鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・鉛筆削り・上履き・腕時計
- 携帯電話 スマートフォン、ウェアラブル端末、その他の学力検査の公正さを損なうおそれのあるものの検査室への持ち込みは認めない。

4 検査期日 令和8年3月10日(火)

5 検査時間割

	教科	検査時間
1	国語	9:40～10:30
2	数学	10:50～11:40
3	社会	12:00～12:50
4	理科	13:55～14:45
5	外国語 (英語)	15:05～16:00
6	実技試験	16:25～16:55

※ 実技試験についてはベージックデザインコースのみ

(切 取 り)

(様式1B)

通 学 に 関 す る 誓 約 書

令和8年 月 日

現 住 所

(_____)

本 人 氏 名 (自 署)

保 護 者 氏 名 (自 署)

本校入学の上は、上記現住所から通学します。
もし、通学区域外から通学する事情が生じたときは、転学するなど、貴職の指示に従います。

(注) 1 「学区外高等学校入学志願申請書」を提出した者は、通学区域内の居住予定の住所を現住所欄()内に記入すること

2 福岡県公立学校入学希望者選抜WEB出願システムによる入学志願手続を行う志願者については、本様式の作成及び提出は不要であること。

(様式2A)

学区外高等学校入学志願申請書					
令和8年 月 日					
古賀高等学校組合教育委員会教育長 殿					
本人氏名					
保護者氏名					
下記のとおり申請します。					
本人	現住所		保護者	現住所	
	出身学校名	()			
	氏名			氏名	
	生年月日	昭和 年 月 日生 平成			
志願先高等学校		福岡県公立古賀竟成館高等学校			
理由（具体的に記述すること。）					

(注) 1 この申請書は、他の必要書類とともに本校校長に提出すること。

(様式2B)

学区外高等学校入学のための
身 元 引 受 書

令和8年 月 日

古賀高等学校組合教育委員会教育長 殿

現住所 _____

身元引受人氏名（自署） _____

志願者との関係 _____

志願者 _____ が入学の上は、その身元を引き受け、
私の住居から通学するようにします。

(注) 1 身元引受人の住民票の写しを添付すること。

2 福岡県公立高等学校入学者選抜 WEB 出願システムによる入学志願手続の場合は、身元引受人氏名欄の自署
は問わないこと。

(様式3A)

令和8年 月 日

福岡県公立古賀竟成館高等学校長 殿

学校長 印

志 願 変 更 届

さきに貴校を志願していた本校生徒（卒業生）
（受検番号第 号）
高等学校に志願を変更しますので、提出書類の還

付をお願いします。

（切取り）

(様式3B)

令和8年 月 日

高等学校長 殿

福岡県公立古賀竟成館高等学校長 印

志 願 変 更 証 明 書

下記の者は令和8年 月 日本校に志願変更届を提出したことを証明します。

記

1 出身学校名

2 志願者氏名

3 受検番号 第 号

（注）福岡県公立高等学校入学者選抜WEB出願システムによる入学志願手続を行う志願者については、本様式（様式3A及び3B）の作成及び提出は不要であること。

調査書

(様式5)

<div> <div>※受験番号 (受験番号)</div> <div>※志願変更後の 受験番号</div> </div>										<div> <div>※居住証明□ 志願者は2年以上本校に在学し、上記住所に2年以上引き続いて保護者とともに居住している。</div> </div>									
A 学籍の記録		志願者		ふりがな		氏名		性別		生年月日		昭和 平成		年 月 日		現 住 所			
B 各教科の学習の記録		評 定		1年		2年		3年		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		C 総合的な学習の時間の記録			
D 3年間の学習状況		観 点 別 学 習 状 況		1年		2年		3年		基本的な生活習慣		健康・体力の向上		自主・自律		責任感			
E 出席の記録		欠席日数		1年		2年		3年		F 健康の記録		G 特別活動の記録		H 総合		I 見			
F 健康の記録		備 考		1年		2年		3年		G 特別活動の記録		H 総合		I 見		記載担当者職・氏名			
G 特別活動の記録		備 考		1年		2年		3年		H 総合		I 見		記載担当者職・氏名		記載担当者職・氏名			
H 総合		備 考		1年		2年		3年		I 見		記載担当者職・氏名		記載担当者職・氏名		記載担当者職・氏名			
I 見		備 考		1年		2年		3年		J 総合		K 見		記載担当者職・氏名		記載担当者職・氏名			

(注) 福岡県公立高等学校入学選抜WEB出願システムによる入学志願手続の場合は、学校長印を省略することができる。

[illegible]

(注) 福岡県公立高等学校入学者選抜WEB出願システムによる入学者選抜手続の場合は、学校長印を省略することができること。

I 調査書の記入について

1 様式

作成する様式については、以下のとおりとする。

- (1) 令和8年3月卒業見込みの者、令和7年3月卒業者、令和6年3月卒業者、令和5年3月卒業者、令和4年3月卒業者及び令和2年3月以前の卒業者
調査書（様式5）をA4判で作成すること。
- (2) 令和3年3月の卒業者
調査書（様式5）【令和3年3月の卒業者用】をA3判で作成すること。

2 記入要領

以下の要領により記入すること。

また、以下A～Hは、調査書（様式5）に対応しているため、調査書（様式5）【令和3年3月の卒業者用】については、それぞれ該当する欄の要領を参照して記入すること。

A 学籍の記録

- (1) 志願者欄は、志願者の氏名、ふりがな、性別、生年月日、卒業等、現住所を記入する。
- (2) 教育的配慮が必要な外国籍等の生徒の記入方法については、ふりがな、氏名ともに本名を記入し、上段に括弧書きで通称を記入する。

ふりがな	(つうしょう) ほんみょう
氏 名	(通 称) 本 名

- (3) 卒業等欄は、卒業見込み又は卒業の該当するものを○で囲み、その年月日を記入する。
- (4) 「居住証明」については、該当する者について☑する。

※ 区域外就学者、通学区域外からの志願者及び過年度中学校卒業者は☑せず、住民票の写し（本人、保護者及び世帯主との続柄が記載され、原則として3か月以内に交付されたもの。なお、マイナンバーの記載がないもの。）を WEB 出願システムに登録すること。

B 各教科の学習の記録

- (1) 評価欄は、第1学年及び第2学年分については、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）から転記する。第3学年分については、指導要録の記入要領に準じて、「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるものを5、「十分満足できる」状況と判断されるものを4、「おおむね満足できる」状況と判断されるものを3、「努力を要する」状況と判断されるものを2、「一層努力を要する」状況と判断されるものを1として記入する。
- (2) 観点別学習状況欄は、指導要録の記入要領に準じて観点ごとに「十分満足できる」状況と判断されるものをA、「おおむね満足できる」状況と判断されるものをB、「努力を要する」状況と判断されるものをCとして記入する。

なお、【令和3年3月の卒業者用】については、第1学年欄及び第2学年欄を空欄とすること。

C 総合的な学習の時間の記録

総合的な学習の時間の記録については、指導要録の記入要領に準じて、この時間に行った学習活動及び指導の目標や内容に基づいて定めた評価の観点を踏まえて特記すべき事項を記入する。

D 行動の記録

第3学年の行動の記録について、指導要録の記入要領に準じて項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

E 出欠の記録

- (1) 欠席日数欄は、学年ごとの欠席日数を記入する。ただし、第3学年に在学中の者は、令和7年12月末日現在で記入する。
- (2) 欠席日数欄は、欠席がない場合は^{ゼロ}0と記入する。
- (3) 備考欄の記入は次のとおりとする。
 - ア 欠席日数が0日から6日までの場合は空欄とする。
 - イ 欠席日数が7日から29日までの場合はその中に連続7日以上のものであれば欠席の主な理由を記入し、なければ備考欄に斜線を引く。
 - ウ 欠席日数が30日以上の場合は欠席の主な理由を記入する。

F 健康の記録

修学上留意すべき疾病がある場合、修学上配慮すべき事項がある場合、又は、健康に関する指導について特に必要がある場合は、当該事項について備考欄に記入し、それ以外の場合は、特記事項なしに因する。

なお、【令和3年3月の卒業者用】については、修学上留意すべき疾病がある場合及び修学上配慮すべき事項がある場合はその事項を疾病等の欄に記入し、健康に関する指導上、特に必要な事項がある場合は備考欄に記入する。それ以外の場合は、異常なしを○で囲み、他の欄の記入を要しない。

G 特別活動の記録

特別活動の記録については、指導要録の記入要領に準じて、十分満足できる状況にあると判断される場合には、○印を記入する。

H 総合所見

総合所見については、以下の事項等を総合的に記入する。

- (1) 各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見
なお、音楽、美術、保健体育、技術・家庭の各必修教科に関して、それぞれの学習成果が十分選抜の資料として生かされるよう、指導要録の学習の記録の観点等を参考として、特記すべき事項を記入すること。
- (2) 特別活動における生徒の活動に関する主な事実及び所見
- (3) 学習に対する努力や学習態度等の日常の学習状況
- (4) 進路に対する意識
- (5) 学校内外におけるスポーツ活動・文化活動・社会活動・ボランティア活動等
- (6) 趣味・特技

(7) その他進学上参考となる事項等

その他

- (1) 記載担当者職・氏名欄は当該志願者の調査書を記載した者の職・氏名を記入する。
- (2) 証明年月日、所在地、学校名を記入し、公印を押印する。なお、福岡県公立高等学校入学者選抜 WEB 出願システムによる入学志願手続の場合は、公印を省略することができる。
- (3) 義務教育学校にあっては、様式中の1年、2年、3年をそれぞれ、7年、8年、9年と読み替えて記入する。
- (4) ※印の欄は、本校で記入する。

II 調査書の記入不備等の場合について

調査書は、入学者選抜のために必要かつ重要な資料であるので、本校校長が不備であると判断したもののについては、受理することができない。

III 過年度中学校卒業者に係る調査書の記入上の留意点について

過年度中学校卒業者の調査書の記入に当たっては、以下の点に留意すること。

- 1 「令和2年3月以前の卒業者に係る調査書」について
「B 各教科の学習の記録」欄から「H 総合所見」欄までは空欄になること。
- 2 【令和3年3月の卒業者用】の「志願校」欄については、記入を要しないこと。
- 3 「B 各教科の学習の記録」(【令和3年3月の卒業者用】については「D 各教科の学習の記録」)の「評定(第3学年)」欄について
 - (1) 令和5年3月から令和7年3月の卒業者については、卒業見込みで作成した評定一覧表の評定値を転記すること。
 - (2) 令和3年3月から令和4年3月の卒業者については、卒業見込みで作成した評定一覧表又は学級評定一覧表の評定値を転記すること。
※ 評定一覧表の作成については、21ページの「II 過年度中学校卒業者に係る評定一覧表の取り扱いについて」に留意すること。
- 4 「A 学籍の記録」欄の「居住証明」及び【令和3年3月の卒業者用】の「I 居住証明」欄について
過年度中学校卒業者については、証明はできないこと(この欄は、空欄とすること)。
なお、この場合、住民票の写し(本人、保護者及び世帯主との続柄が記載され、原則として3か月以内に交付されたもの。なお、マイナンバーの記載がないもの。)を WEB 出願システムに登録すること。

(様式6)

令和 年度卒業（見込み）第3学年 評定一覧表 第 枚中の 枚 _____ 学校長 印

区分 番号	氏 名	評 定										備考	
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語 (英語)	段階値の合計		
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
40													
小計											※		
小 計	評定5の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	a	0	a×5 0
	評定4の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	b	0	b×4 0
	評定3の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	c	0	c×3 0
	評定2の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	d	0	d×2 0
	評定1の数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	e	0	e×1 0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	※ 0

※欄の数字は一致すること。

I 評定一覧表（様式6）作成上の留意点について

- 1 A4判で作成すること。
- 2 氏名欄は、全員について記入すること。なお、学級ごとに作成する必要はないこと。
- 3 評定欄は、学年全員についてその評定を記入すること。2枚以上になるときは各紙に小計を記入し、最後の用紙に学年全員の合計欄を作り記入すること。
- 4 評定は、目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）による評定を記入すること。
- 5 ※欄の数は一致するものであること。
- 6 原則として、特別支援学級に在籍する生徒についても学年全員の合計に加えること。また、特別支援学級に在籍する生徒で特別の教育課程を編成している場合は、その旨備考欄に記入すること。
- 7 普通学級に在籍する生徒と特別支援学級に在籍する生徒の評定一覧表を別葉（普通学級に係るものを1組、特別支援学級に係るものを1組）として作成しても差し支えない。
なお、受検者がいない特別支援学級の評定一覧表については、必ずしも提出の必要はないが、作成しておくことが望ましいものであること。
- 8 義務教育学校にあっては、様式中の第3学年を第9学年と読み替えて記入すること。

II 過年度中学校卒業者に係る評定一覧表の取扱いについて

過年度中学校卒業者の評定一覧表の取扱いについては、以下のとおりとするので、留意すること。

なお、提出の際は、様式中「（見込み）」を二重線で消すこと。

- 1 令和7年3月卒業者・・・卒業見込みで作成した一覧表を提出すること。
 - 2 令和6年3月卒業者・・・卒業見込みで作成した一覧表を提出すること。
 - 3 令和5年3月卒業者・・・卒業見込みで作成した一覧表を提出すること。
 - 4 令和4年3月卒業者・・・学級評定一覧表又は卒業見込みで作成した一覧表を提出すること。
 - 5 令和3年3月卒業者・・・学級評定一覧表又は卒業見込みで作成した一覧表を提出すること。
 - 6 令和2年3月以前の卒業者・・・提出の必要なし
- ※ 学級評定一覧表・・・志願者が在籍した学級の生徒全員分の評定を中学校生徒指導要録から要項様式「様式6」に転記したもの。

受 検 票

学科(コース)	希望学科・コースに1つ○
	普通科 特進コース
	普通科 進学コース
	普通科 バージックデザインコース
	総合ビジネス科
※ 受検番号	第 号
ふりがな	
氏名	
生年月日	平成 年 月 日生
出身 学校名	学校
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 福岡県公立古賀竟成館高等学校長 印 </div>	

- 注 1 ※印欄は高等学校で記入する。
 2 この受検票の交付をもって入学選考料の受領証交付に代える。
 3 この受検票は、入学手続日に持参すること。

(切 取 り)

(様式推1A)		※受付年月日	※受付番号	※受付者
<h1>推 薦 入 学 願 書</h1>				
福岡県公立古賀竟成館高等学校長 殿 令和8年 月 日				
貴校全日制課程に入学を志願します。 推薦条件に○をしてください				
希望学科・コースに1つ○	学校 推薦	自己推薦		
普通科 特進コース	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
普通科 進学コース				
普通科 バージックデザインコース				
総合ビジネス科				
区 分	本 人	保 護 者		
ふりがな				
氏 名 (自 署)				
生 年 月 日	平成 年 月 日生	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>		
現 住 所	〒 - -			
出身学校名	学校	本人との関係		

- (注) 1 「本人との関係」欄には、例えば父・母・叔父等と記入すること
 2 福岡県公立学校入学選考WEB出願システムによる入学志願手続を行う志願者については、本様式の作成及び提出は不要であること。

受 検 者 心 得

- 1 この受検票は検査当日必ず携帯し、受検中は監督者に見えるように常に机上に置いておくこと。
- 2 受検に当たって必要なもの
受検票・鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・鉛筆削り・上履き・腕時計
- 3 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、その他学力検査の公正さを損なうおそれのあるものの検査室への持ち込みは認めない。
- 4 検査期日
学校推薦 令和8年2月3日(火)
・集合時刻 午前8時50分
自己推薦 令和8年2月4日(水)
・集合時刻 午前8時50分

(切 取 り)

(様式推1B)

通 学 に 関 す る 誓 約 書

令和8年 月 日

現 住 所

()

本 人 氏 名 (自署)

保護者氏名 (自署)

本校入学の上は、上記現住所から通学します。
もし、通学区域外から通学する事情が生じたときは、転学するなど、貴職の指示に従います。

(注) 1 「学区外高等学校入学志願申請書」を提出した者は、通学区域内の居住予定の住所を現住所欄()内に記入すること

2 福岡県公立学校入学希望者選抜WEB出願システムによる入学志願手続を行う志願者については、本様式の作成及び提出は不要であること。

(様式推2学)

令和8年度 福岡県公立古賀竟成館高等学校 学校推薦 志願理由書

受検番号

※

令和8年 月 日

福岡県公立古賀竟成館高等学校長 殿

学校名

志願者氏名

志願学科・コースに1つ○

私は、
貴校の

<input type="checkbox"/>	普通科 特進コース
<input type="checkbox"/>	普通科 進学コース
<input type="checkbox"/>	普通科 ベーシックデザインコース
<input type="checkbox"/>	総合ビジネス科

への学校推薦を
下記の理由により志願します。

志望の動機・理由等（志願者本人が記入すること。）

<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>
<div></div>

- (注)
- ※の欄は、記入しないでください。
 - 福岡県公立高等学校入学者選抜WEB出願システムによる入学志願手続の場合は、志願者氏名の自署は問わないこと。

(様式推2自)

令和8年度 福岡県公立古賀竟成館高等学校 自己推薦 志願理由書

受検番号

※

令和8年 月 日

福岡県公立古賀竟成館高等学校長 殿

学校名

志願者氏名

志願学科・コースに1つ○をする

私は、
貴校の

<input type="checkbox"/>	普通科 特進コース
<input type="checkbox"/>	普通科 進学コース
<input type="checkbox"/>	普通科 ベーシックデザインコース
<input type="checkbox"/>	総合ビジネス科

への自己推薦を
下記の理由により志願します。

該当する条件に1つ○をする

<input type="checkbox"/>	(ア)	学力
<input type="checkbox"/>	(イ)	運動競技・文化活動
<input type="checkbox"/>	(ウ)	生徒会活動・ボランティア活動等
<input type="checkbox"/>	(エ)	非認知的能力

普通科進学コース、総合ビジネス科の志願者で(イ)の
運動競技に該当する者は以下のどちらかに○をすること。

<input type="checkbox"/>	作文
<input type="checkbox"/>	実技試験(運動競技)

志望の動機・理由等(志願者本人が記入すること。)

(注) 1 ※の欄は、記入しないでください。

2 福岡県公立高等学校入学者選抜WEB出願システムによる入学志願手続の場合は、志願者氏名の自署は問わないこと。

(様式推3)

令和8年度 福岡県公立古賀竟成館高等学校 推薦書

受検番号

※

令和8年 月 日

福岡県公立古賀竟成館高等学校長 殿

学校長 印

志願学科・コースに1つ○

下記の者を、貴校の

<input type="checkbox"/>	普通科 特進コース
<input type="checkbox"/>	普通科 進学コース
<input type="checkbox"/>	普通科 ベーシックデザインコース
<input type="checkbox"/>	総合ビジネス科

への入学が適当と認められるので、
推薦します。

記

1 志願者

ふりがな 氏 名	

2 推薦理由

・ 次のうち、該当するものを選び○を記入してください。(複数選択可)

☐

(ア) 学力

☐

(イ) 運動競技・文化活動

☐

(ウ) 生徒会活動・ボランティア活動等

☐

(エ) 非認知的能力

・ その他特記事項

(主体的な活動や優れた能力・意欲等、調査書に記載されたこと以外に特筆すべき事項がある場合は記入してください。ない場合は「特記事項なし」に○を記入してください。)

☐

特記事項なし

(注) 1 ※の欄は、記入しないでください。

2 福岡県公立高等学校入学者選抜WEB出願システムによる入学志願手続の場合は、学校長印を省略することができること。

受 検 票

学科(コース)	希望学科・コースに1つ○
	普通科 特進コース
	普通科 進学コース
	普通科 パーシククデザインコース
	総合ビジネス科
※ 受検番号	第 号
ふりがな	
氏名	
生年月日	昭和 平成 年 月 日生
出身 学校名	学校
福岡県公立古賀竟成館高等学校長 印	

- 注 1 ※印欄は高等学校で記入する。
 2 この受検票の交付をもって入学選考料の受領証交付に代える。
 3 この受検票は、入学手続日に持参すること。

(切 取 り)

(様式有1A)		※受付年月日	※受付番号	※受付者					
<h2>有志 竟 成 人 材 粹 願 書</h2> <p>福岡県公立古賀竟成館高等学校長 殿 令和8年 月 日</p> <p>貴校全日制課程に入学を志願します。</p> <table border="1"> <tr> <td>希望学科・コースに1つ○</td> </tr> <tr> <td>普通科 特進コース</td> </tr> <tr> <td>普通科 進学コース</td> </tr> <tr> <td>普通科 パーシククデザインコース</td> </tr> <tr> <td>総合ビジネス科</td> </tr> </table>					希望学科・コースに1つ○	普通科 特進コース	普通科 進学コース	普通科 パーシククデザインコース	総合ビジネス科
希望学科・コースに1つ○									
普通科 特進コース									
普通科 進学コース									
普通科 パーシククデザインコース									
総合ビジネス科									
区 分	本 人	保 護 者							
ふりがな									
氏 名 (自 署)									
生 年 月 日	昭和 平成 年 月 日生								
現 住 所	〒 - -	〒 - -							
出身学校名	学校	本人との関係							

- (注) 1 「本人との関係」欄には、例えば父・母・叔父等と記入すること
 2 福岡県公立学校入学選考WEB出願システムによる入学志願手続を行う志願者については、本様式の作成及び提出は不要であること。

受 検 者 心 得

- 1 この受検票は検査当日必ず携行し、受検中は監督者に見えるように常に机の上に置いておくこと。
- 2 受検に当たって必要なもの
受検票・鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・鉛筆削り・上履き・腕時計
- 3 携帯電話 スマートフォン、ウェアラブル端末、その他学力検査の公正さを損なうおそれのあるものの検査室への持ち込みは認めない。
- 4 検査期日 令和8年3月26日(木)
・集合時刻 午前8時50分

(切 取 り)

(様式有1B)

通 学 に 関 す る 誓 約 書

令和8年 月 日

現 住 所

()

本 人 氏 名 (自署)

保護者氏名 (自署)

本校入学の上は、上記現住所から通学します。
もし、通学区域外から通学する事情が生じたときは、転学するなど、貴職の指示に従います。

(注) 1 「学区外高等学校入学志願申請書」を提出した者は、通学区域内の居住予定の住所を現住所欄()内に記入すること

2 福岡県公立学校入学希望者選抜WEB出願システムによる入学志願手続を行う志願者については、本様式の作成及び提出は不要であること。

(様式7)

特 別 措 置 申 請 書

令和 年 月 日

福岡県公立古賀竟成館高等学校長 殿

学校長 印

貴校志願予定の本校生徒（卒業生）の障がい等の状況は下記のとおりですので、受検に当たって、適切な措置をとられるようお願いいたします。

障がい等の種類・程度			
学校における生活状況及び指導上の配慮事項			
受検上必要と考えられる特別な配慮事項	必要と考えられる配慮事項	選抜の区分	
		一般	推薦
	(1) 座席の配慮 (内容：)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(2) 別室受検	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(3) 面接時の配慮 (内容：)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(4) 保護者による自家用車等での送迎 (駐車場の利用を含む。)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(5) 検査会場の什器（長机等）の使用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(6) 多機能トイレ、エレベーター等、 会場施設の使用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(7) 補聴器の持ち込み、使用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(8) その他物品等の持ち込み、使用 (物品等名称：)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(9) 問題用紙の拡大（拡大率 141%）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	(10) 解答用紙の拡大（拡大率 141%）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(11) その他 内容：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

(注) 1 この特別措置の対象となる者は、身体の障がい、発達障がい又は疾病等のため通常の方法により受検することが困難と認められる者とする。

2 「障がい等の種類・程度」欄は、医師の診断結果等に基づいて具体的に記入すること。

3 「受検上必要と考えられる特別な配慮事項」欄は、必要と考えられる配慮事項ごとに、配慮が必要と考えられる選抜の区分に印すること。なお、「選抜の区分」欄の「一般」は一般入学者選抜、「推薦」は推薦入学者選抜を示すこと。

4 申請書の記載内容のみでは障がい等の程度を十分に把握できない場合には、医師の診断書等を添付すること。